

あしたむらんどだよ

臨海学習

一年A組 筒井悠介



七月十五日
火曜日と十六
日水曜日に、
僕達一年生
は、福井県小

浜市で臨海学習を行いました。行きのバスでは、コインゲームなどおなが痛くなるほど笑える、楽しいバスレクができました。

バスレクの後、しばらくするとだんだん若狭湾も見えてきて、それから少し経つと、今回の臨海学習でお世話になる国立若狭湾青少年の家に着きました。入所式では、所長さんがいないため、カッター訓練でもお世話になる木本さんが注意することなどを教えてくれました。そして下條中学校の校歌を、みんなで大きな声で歌いました。指揮は、岩松亮汰君が前に出て、がんばっていました。

入所式の後には、昼食をつどいの広場でいただきました。僕は食事係で用意などをがんばりました。みんなおいしそうに食べていました。今回の三つのメインイベントのひとつ、カッター訓練がありました。まず、木本さんにライフジャ

ケットの着用のしかたやカッターをこぐときのかけ声を教えていただきました。いよいよカッター船に乗りこみました。乗り込む前に、オールのこぎかたなどを、教えてもらいました。いよいよ出発です。指揮官は、先ほどからお世話になっている木本さんでした。始めは遠くを見て、よわないようにして、その後出発した所をふりかえって見ていたら、非常に遠くてびっくりしました。こいでいるときに、木本さんがいろいろな豆知識を教えてくださいました。特に「長野県民が好きです」と言ってくれてその理由も教えてくれたことが思い出に残りました最初は「つらいのかな」と思っていたけれど、帰つてくると「楽しかったな」と思いました。

カッター訓練が終わると、布団を敷き、ビーチファイヤーをやりました。僕は、クラスの出し物が一番おもしろかったです。A組は、恋するフォーチュンクッキーをどどり、みんなで楽しくできました。二日目の始まりです。最初に感謝をしながら清掃をしました。きれいになるようがんばりました。次に朝食を食べ、最後のメインイベントの水泳訓練をしました。僕は、泳げない方のB班でした。足

がつくくらいの深さの所を泳ぎました。中間になると、中心にある飛び込み台のようなところまで行きました。休むときには、ウ二などを見て、とても楽しい水泳訓練でした。

僕は、今回の臨海学習で、下條村では体験できない海の楽しさにふれあうことができました。海では、クラゲや魚などとふれあうことができました。海のしよっぱさとふれあうことができました。

そして、共に助け合うことを学びました。とても楽しい臨海学習でした。



模擬議会を終えて

三年B組 佐々木 琉斗



七月二十二日に平成二十六年度、下條村模擬議会が行われました。

私たち三年生は、よりよい村を目指して、六つの提案をしました。

模擬議会に向け、四月から調べ学習を進めてきました。インターネッ

トを使ったり、アンケート調査をしたり、実際にお話を聞きにいたりしました。僕たちの班は、カッセイカマンと協力した村のPR活動について考えました。カッセイカマンが、あまり他市町村に知られてないと思い、もっとPRしようとカッセイカマンの看板を設置してほしいという要望を出しました。村長さんから、今年中に看板を作りたい、という回答をいただきました。まさかの回答に、とても驚きました。今後、看板が設置されるのが楽しみになりました。

この他にも、下條村エコタウン計画や、メゾンコスモスの入居者募集、独居老人への介護用タブレットの配布、ゆるキャラなど、さまざまな提案をしました。しかし、村長さんは、「現実を考えると厳しい。」という回答を繰り返していました。それには、周りの市町村の人口減少が問題になっているからです。下條村、だけ人口が増えても仕方がなく、下條村に引っ越ししたくてもできない人たちがいることを知りました。

今回の模擬議会で、六つの提案は、どれも将来の下條村の存続には欠かせない内容ばかりで、大切なことだと思えました。しかし、今やらなければいけないことは何なのかを考えさせられた議会でした。村長さんから聞いた話や、全体を通して学習したことを、これからの生活に生かしていきたいと思えました。

村の図書館から

開館記念行事 「一日図書館長」を 行いました

七月六日(日)の午後「一日図書館長行事」が、開館十九年を迎える下條村立図書館にて開催され、八名の一日図書館長の皆さんが業務体験などを通じ、図書館への理解を深めました。

図書館カウンターにて村長から委嘱状を受け取り、図書館入口にて記念撮影を行いました。その後は、会議室へ場所を移し、村長より、「活字を読み、自身でそしゃくし、人生に生かすことが、深みと厚みのある人生を送るうえでとても重要。今後も図書館を活用していただき『図書館ではこんなことをやっている』と周りの人に広めてもらいたい」と挨拶がありました。その後、司書より図書館の業務や特色についての説明がありました。

休憩後は、図書館内に移動し、まずカウンターにて利用者への貸出や返却、返本(本を棚へ返す)を体験しました。その後は、ふだんでは見ることのできない司書室や書庫

を見学し、最後に圖書の受

入れ(データ入力)にも挑戦しました。

その後の懇談会では、一日図書館長を体験しての感想や図書館への要望など、気軽に発言していただきました。

平成二十六年
年度一日図書館長

【利用者代表】

岡庭 祐介さん(陽阜郵便局)

代田 由紀子さん(吉岡)

加藤 摩純さん(山一西)

新井 美香さん(山二)

【小学校PTA副会長】

熊谷 美保さん(休戸)

【中学校PTA副会長】

下嶋 美津江さん(粒一南)

【小学校児童会図書副委員長】

鶴田 美理有さん(北又)



【中学校生徒会図書委員長】

古田 彩葉さん(長原)

【いただいたご感想から】

- ★リクエストのサービスは助かる。
- ★人口規模のわりにしつかりした図書館。飯田の図書館でも借りるが、読みたい本が借りられているときはここで借りる。
- ★図書館の奥まで見ることができおもしろかった。書庫に三万冊あるとは驚いた。管理するのは大変と思った。
- ★曜日を決めて、夜間開館(八時までなど)してほしい。
- ★DVDがもっとたくさんあるとうれしい。
- ★資料(図書・DVD)費が三万五千だったのが、三百万に減ったのは残念。読みたい本がたくさんあり、資料費の予算が増えれば、気兼ねなくリクエストができる。
- ★独身の頃は図書館に縁がなかったが、結婚し下條村に住み、子どもができてからは月に一度通っている。子どもがカッセイカマンが大好きで、DVDを借りる。来やすい雰囲気があり、同世代のお母さんたちと話もできる楽しい場所。
- ★子どもが小さいころはよく来て、家族中のカードを使って何十冊も絵本を借りた。好きな作家やシリーズなど全部借りて読んだ。そのせいか息子(中学生)が書店でシリーズの新作を見つけると「買って」と言った。子ども時代に読んだ本の記憶は、こんなふうに残るのだと感じた。子どもが大きくなって足が遠のいたが、落ち着いたらまた利用したい。
- ★一冊の本を受入れるのに、インプットする内容が多くとても大変。もっと簡単にできるシステムを作るとよいのでは。
- ★中学校で生徒が読み聞かせをする機会が年々一〜二回あるが、本が上を向いていたり、声が小さかったりでもったいない。図書館が指導に入るとよいのでは。
- ★カウンターでの作業ができて、楽しかった。
- ★本が分類され、棚にきちんと並んでいてわかりやすい。
- ★中学校の図書委員会や図書新聞を出したら…と話が出ている。「としゃかんだより」を参考にしたい。
- ★漫画があるのは良いと思う。
- ★本を借りるだけではわからないいろいろなことがわかって、いい経験になった。
- ★子育て世代にとっては、朝八時半ぐらいから開館してほしい。